

患者団体との関係の透明性に関する指針について

一般社団法人 日本血液製剤機構(以下、JB)は、「善意と医療のかけ橋 私たちは善意の献血による血液製剤を通じ高い倫理観と使命感をもって人びとの健康に貢献します」という基本理念のもとに、社会から信頼される法人をめざして事業活動を継続しております。そして、その活動に関連して様々な患者団体と協働させていただく機会も増加しております。

JBは、患者団体との協働の一環としての支援活動等が、各患者団体の独立性を尊重した相互理解のもとに実施され、各患者団体の活動・発展に寄与していることについて、広く社会からご理解をいただくことが重要であると考えております。本件につきましては、日本血液製剤協会等が「患者団体との協働に関するガイドライン」「企業活動と患者団体との関係の透明性ガイドライン」を策定し、各会員企業が患者団体との協働に関わる取り組みを進めていく旨の方針が発表されています。

これらに鑑みまして、JBは、「基本理念」、「ビジョン」および「行動指針」に従って策定した「コンプライアンス行動宣言」に基づいて、「患者団体との関係の透明性に関する指針」を下記の通り定めました。

本指針に従いまして、JBから国内の患者団体に対するご支援にあたりまして、協働に関する合意書を締結したうえで、各患者団体に対する資金提供等の内容につきまして、2014年の決算発表以降に、JBのホームページ等に公開させていただいております。

患者団体におかれましては、本件につきましてご理解を賜り、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

患者団体との関係の透明性に関する指針の内容〈概要〉

1. 基本方針

JBは、「JBコンプライアンス行動宣言」および「JBコード・オブ・プラクティス」にもとづき、常に高い倫理観を持ち、患者団体の独立性を尊重し、誠実で公正な社会活動を行う。また、JBが支援する患者団体との協働については相互理解を深め、その目的、内容などを書面等で合意するとともに透明性を確保する為に、患者団体へ提供している金銭的支援等については公開する。

2. 目的

JBの企業活動における国内の患者団体との関係の透明性を確保することにより、JBが患者団体の独立性を尊重する高い倫理性と相互理解を担保したうえで患者団体の活動や社会貢献活動に寄与していることについて、社会から広く理解を得ることを目的とする。

* 患者団体とは、患者・家族、その支援者が主体となって構成され、患者の声を代表し、患者・家族を支えあうとともに、療養環境の改善をめざし、原則として、定款・会則により定義された役割や目的を持つ患者会および患者支援団体。

3. 公開対象

【A】直接的資金提供 【B】間接的資金提供 【C】依頼事項等への謝礼等 【D】その他

4. 公開方法

情報公開は、毎年前年度分を当該年度の決算発表後にJBホームページで公開します。なお、全ての公開対象項目については患者団体名を、また公開対象項目【A】、【B】、【C】については支払金額を個別に公開することから、事前に同意の手続きを取らせていただきます。

《JBホームページ上での公開対象の項目と公開方法(例)》

以下の【A】～【D】に該当する支払いおよび労務提供等について公開します。

【A】:直接的資金提供

- ・寄付金、会員・賛助会員費、協賛費、広告費 等

患者団体名および費用項目ごとの金額を公開する: ○○○会 ○○○円

【B】:間接的資金提供

- ・患者団体支援を目的とした機構主催・共催の講演会、説明会、研修会等に伴う費用
- ・患者団体支援に関連して外部業者に委託した費用

患者団体名および間接的資金提供総額を公開する: ○○○会 ○○○円

【C】依頼事項への謝礼等

- ・講師、原稿執筆・監修、調査、アドバイザー 等の費用

患者団体名および費用項目ごとの金額を公開する: ○○○会 ○○○円

【D】その他

- ・労務提供 等

患者団体名を公開する: ○○○会